

かぞく まは とう つう あん ぜん 家族で学ぼう 交通安全

おぼえたかな? できているかな? 4つのおやくそく



④たしかめる
渡る時はもう一度、
車やバイクが来ない
か確かめよう。

③まつ
目の前の信号が青
になるまで待とう。

②みる
右・左の安全をよく
見て確かめよう。

①とまる
道路を渡る前に、
必ず止まろう。



信号よし

右よし

左よし

踏切よし

もういちど
右よし

交通安全は家庭から

日が延びるにつれ、子どもたちの行動範囲は広くなります。自転車や遠くまで出かけ、遊びに夢中になって帰る時間が遅くなってしまうことも考えられます。入学、進級の緊張が薄れ、気が緩んでしまうのもこの時期ではないでしょうか。

子どもが巻きこまれる交通事故は「飛び出し」、「道路の横断中」、「自宅の近く」、「自転車に乗っていて」、「夕方の時間帯」が多いといえます。

交通ルールをきちんと身につけるには、ただ「とまる」、「信号を見る」だけではなく、「なんのため」に止まるのか、「信号を守らな」といどうなるのか」を理解することが大切です。保護者の皆さんは、お子さんに交通ルールを教える良き指導者であってください。また日常、お子さんと道路を歩く際に、どんな危険が潜んでいるのか、大人と子どもの視線はどのくらい違うのかなどを知るようにしてください。交通事故を未然に防ぐには平常時からのちょっとした準備も必要なのです。

交通事故の被害者・加害者にならないよう、家族みんなで交通ルールをおさらいしましょう。

INTERVIEW

西入間警察署交通課



大人が良い模範を示して

交通量の増加に伴い、全国でいくつもの痛ましい交通事故が起っています。こうした事故を防ぐために、全国の小学校で通学路の危険箇所のチェックや、下校の付き添いなどが行われています。



江田 厚 巡査部長

小さいお子さんは、身近な大人の行動を真似します。お子さんが危険な行動を起こさないために、保護者の皆さんもしっかりと交通ルールを守り、お子さんに良い模範を示してください。



自分の命は自分で守る

子どもが巻き込まれてしまう交通事故の多くは、飛び出しが原因です。

『一緒に遊んでいるお友だちが先に道路を渡ったので、慌てて後を追いかけた』『おしゃべりに夢中で近寄る車に気がつかなかった』などルールを学んでも、つい安全確認を忘れて危険を冒してしまうことがあります。

自分の安全は、自分の目でしか確認できません。自分の命は、自分で守りましょう。



今西 里恵子 巡査

★ Point

道路の横断中も安全に気を配りましょう

横断中に急に車が来たり、信号が変わってしまうことがあるので

横断中も周りを気にしながら歩こう！

慌てて走ると、転んでしまうなど余計危ないよ。目で見ただけでなく、車の近づく音や気配にも注意しよう



★ Point

道路を渡る時は手をまっすぐあげましょう



手をあげると
こんなに大きく
見えるから、車からも
わかりやすいね

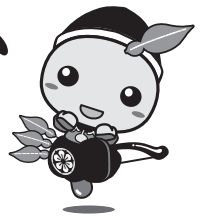
★ Point

道路を渡る時は、自転車も同じです

自転車に乗るときも、4つの約束を守ろうね
道路や踏切を渡る前には、

自転車から降りて

- ①とまる、②みる、③まつ、
- ④たしかめる、だよ



たくさんの人が町の交通安全に協力しています

子どもをはじめ、町の皆さんが安心して暮らせるように、交通事故などから守ってくれている人たちがいます。

西入間交通安全協会毛呂山支部

街頭での交通安全指導や新生へへのランドセルカバーの配布、お祭りや町のイベントでの交通整理などを行っています。

交通安全母の会毛呂山支部

小学生向けの交通安全教室などを開催しています。

児童の登下校見守りボランティア

地域の大人が児童に付き添い、一緒に登下校を行っています。

交通指導員

町から委嘱を受け、通学路の横断歩道や踏み切りなどの、危険箇所の交通指導を行います。

防犯パトロール員

児童の下校から放課後までの時間帯に町内をパトロールし、町の安全を見回っています。

現在、各団体では協力者の減少が問題となっており、随時協力してくれる人を募集しています。交通安全に関心のある人、興味のある人は左記までご連絡ください。

☎ 役場生活環境課交通防犯係

内線213